

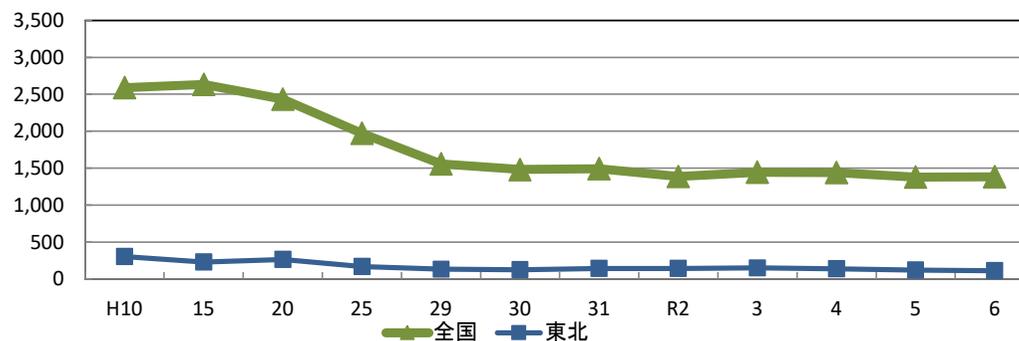
4 畜産環境問題

4-1 苦情発生戸数

- 畜産経営に起因する苦情発生戸数は、減少傾向で推移しており、令和6年は114戸で前年に比べ9戸減少した(前年比7.3%減)。
- 全国に対する東北管内の苦情発生割合は、令和6年が8.2%となり、近年は横ばいで推移。

(単位: 戸)

畜産経営に起因する苦情発生戸数



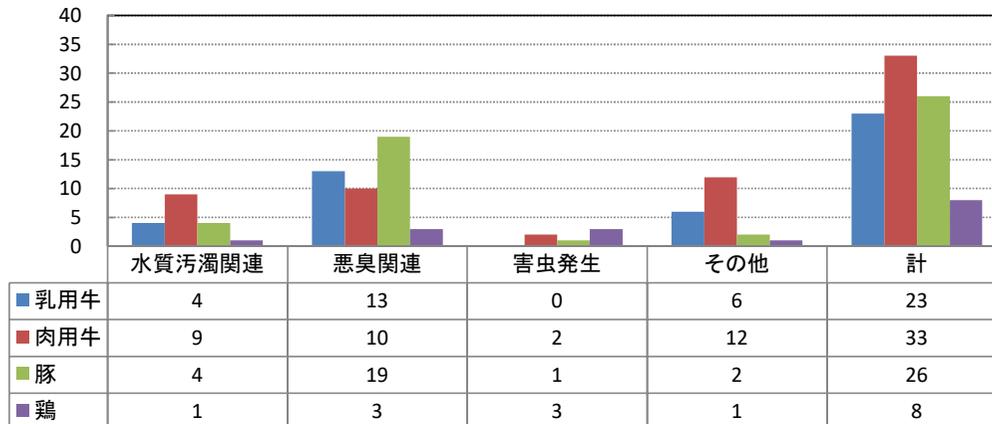
区分	H10	15	20	25	29	30	31	R2	3	4	5	6	対前年比
全国	2,588	2,633	2,433	1,970	1,559	1,480	1,491	1,386	1,446	1,442	1,380	1,384	100.3
東北	305	230	264	168	131	124	142	142	150	138	123	114	92.7

資料: 農林水産省畜産局及び東北農政局畜産課調べ
注: 調査対象期間は、前年7月1日から翌年6月30日まで。

4-2 苦情発生件数

- 畜種別苦情件数は、乳用牛26件(22.8%)、肉用牛47件(41.2%)、豚29件(25.4%)、鶏9件(6.2%)。
- 苦情内容別では、悪臭関連が45件で最も多く、次いで水質汚濁関連が18件となっており、悪臭関連と水質汚濁関連で苦情の約7割を占める。

令和6年東北の畜種別・苦情内容別発生件数



資料: 東北農政局畜産課調べ(馬等を除く)。
注: 発生件数には、苦情内容が重複している場合を含む。その他は、堆肥散乱等への苦情である。
調査対象期間は、前年7月1日から翌年6月30日まで。